

2019年3月期 第1四半期 決算説明会

2018年8月10日

フィールズ株式会社

連結P/L (要約)

(単位：億円)

	2018年3月期		2019年3月期			
	1Q	通期	1Q	前年同期増減額	前年同期 増減率	通期計画
売上高	124.4	610.5	89.3	△35.1	△28.2%	950.0
売上総利益	19.6	134.0	14.2	△5.4	△27.5%	170.0
販管費	48.6	191.3	41.5	△7.0	△14.6%	150.0
営業損益	△29.0	△57.3	△27.3	1.6	-	20.0
経常損益	△30.5	△52.0	△27.5	3.0	-	25.0
親会社株主に帰属 する 当期純損益	△27.5	△76.9	△29.5	△2.0	-	15.0

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています

連結B/S（要約）

（単位：億円）

	2018年3月末	2018年6月末	増減額	主な増減要因
流動資産	421.7	376.0	△ 45.6	現金及び預金の減少
（現金及び預金）	244.7	211.3	△ 33.3	
有形固定資産	52.7	50.1	△ 2.6	土地の売却による減少
無形固定資産	13.8	10.8	△ 3.0	
投資その他の資産	234.9	233.9	△ 0.9	投資有価証券の売却による減少
資産合計	723.3	671.0	△ 52.3	
流動負債	224.8	208.6	△ 16.1	仕入債務の減少
固定負債	143.4	135.6	△ 7.8	長期借入金の減少
純資産	355.0	326.7	△ 28.2	利益剰余金の減少
負債純資産合計	723.3	671.0	△ 52.3	

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています

連結C/F（要約）

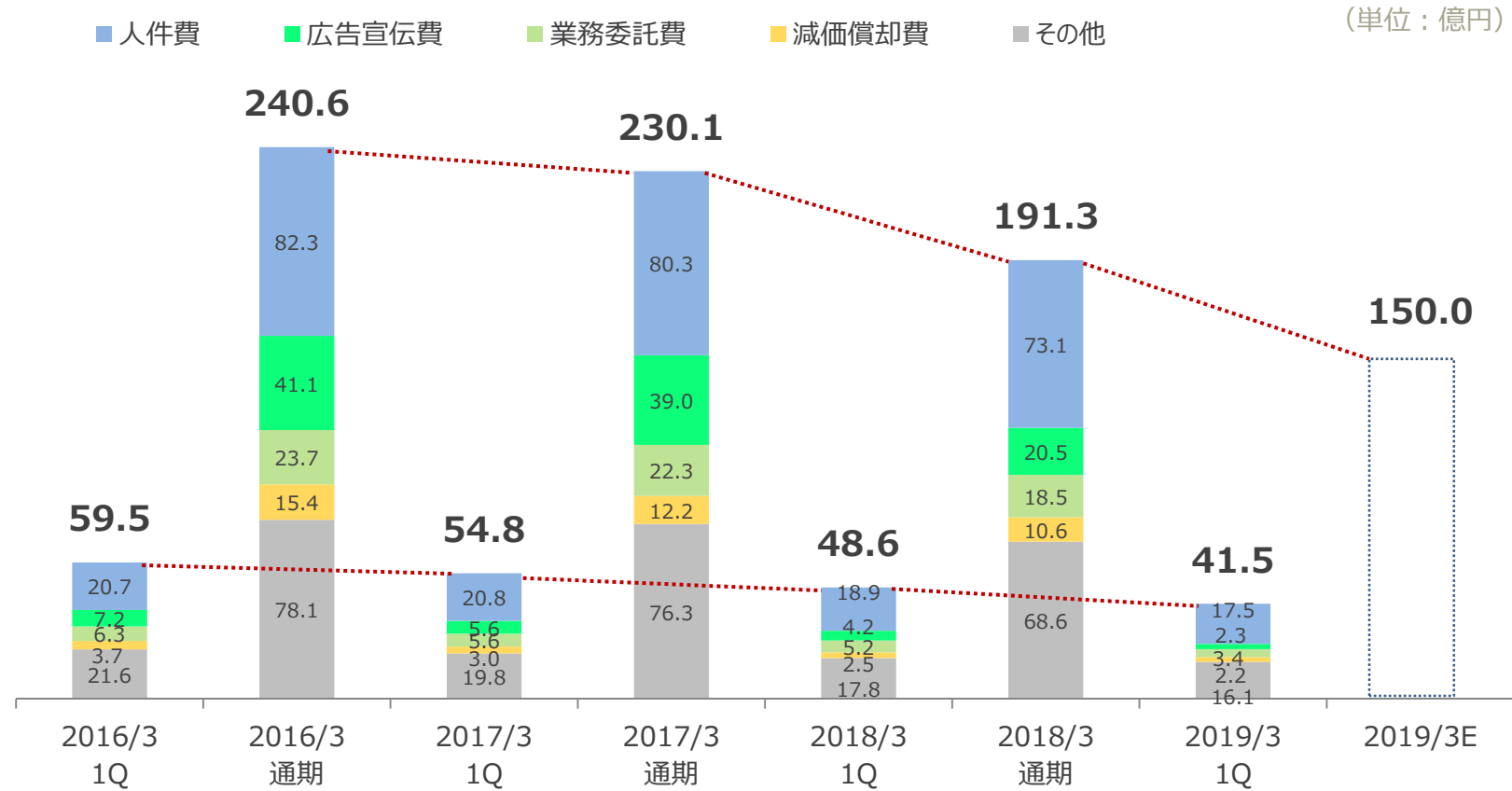
（単位：億円）

	2018年3月期		2019年3月期	当四半期の主な内訳
	1Q	通期	1Q	
営業 キャッシュ・フロー	△9.1	△10.9	△27.4	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純損失 △29.3 ・仕入債務の減少 △23.5 ・売上債権の減少 +18.1
投資 キャッシュ・フロー	49.9	43.9	1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の取得による支出 △1.5 ・投資有価証券の売却による収入 +5.2
財務 キャッシュ・フロー	3.9	△20.2	△7.2	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金の返済による支出 △6.4 ・配当金の支払い △1.6
現金及び現金同等物 の増減額	44.7	12.8	△33.3	
現金及び現金同等物 の期首残高	230.9	230.9	243.7	
現金及び現金同等物 の期末残高	275.7	243.7	210.3	

※ 百万円以下は切り捨てて表示しています

販管費の推移

当1Qは前年同期比7.0億円減、うち広告宣伝費が1.9億円減



(ご参考：従業員数)

連結	1,868名	1,845名	1,796名	1,713名	1,606名	1,514名	1,507名
個別	878名	835名	824名	784名	746名	728名	657名

※その他は表上計算になります。また、百万円以下は切り捨てて表示しています

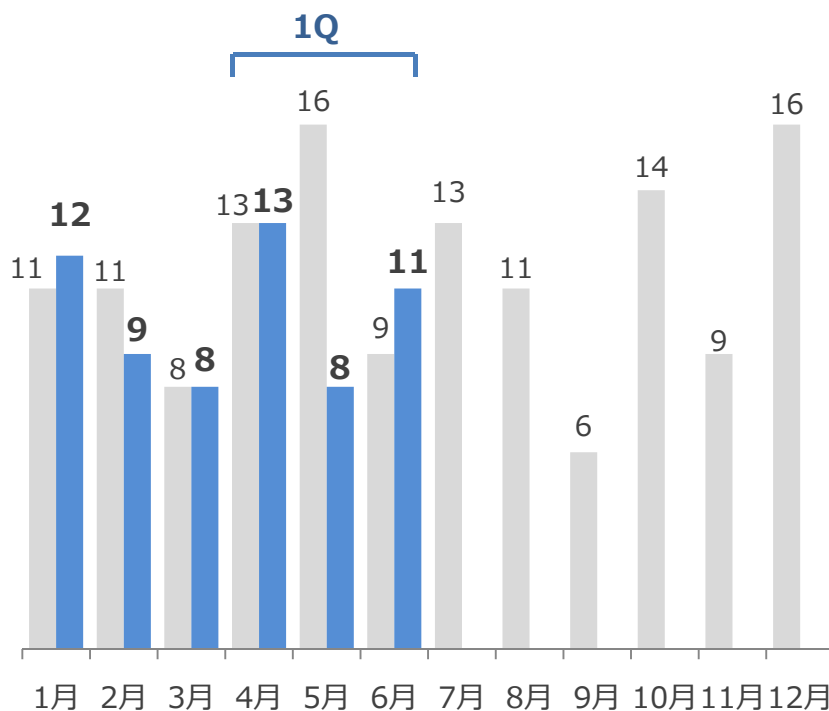
パチンコ・パチスロ市場動向（当1Q）

前年同期比：パチンコ△10.5%/パチスロ△44.4%
市場販売台数は、新規則機に向けた過渡期で低調に推移

パチンコ販売市場 実績（万台）

2017年4月～6月：38万台 ■ 2017年 ■ 2018年

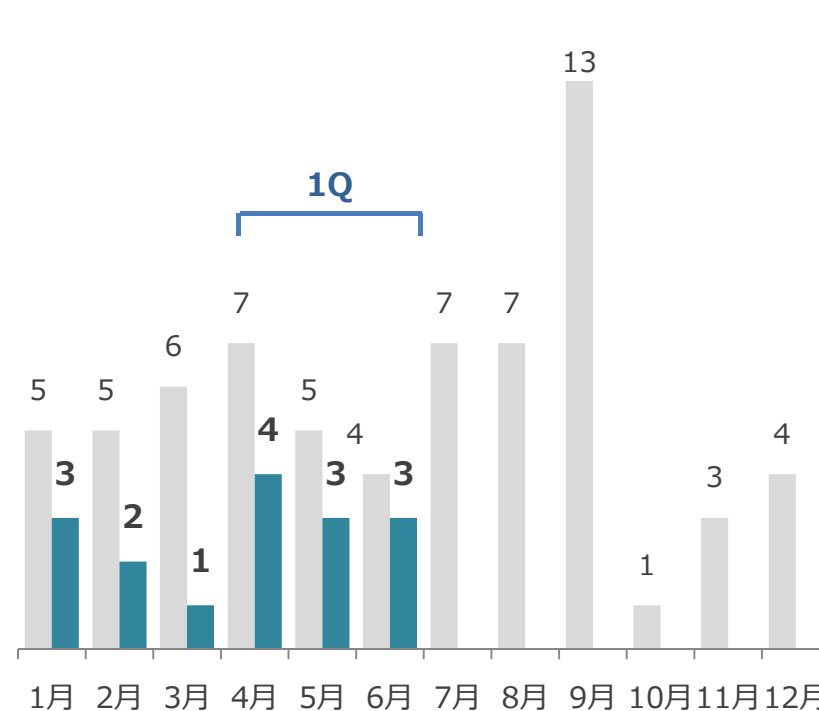
2018年4月～6月：34万台（前年同期比△10.5%）



パチスロ販売市場 実績（万台）

2017年4月～6月：18万台 ■ 2017年 ■ 2018年

2018年4月～6月：10万台（前年同期比△44.4%）

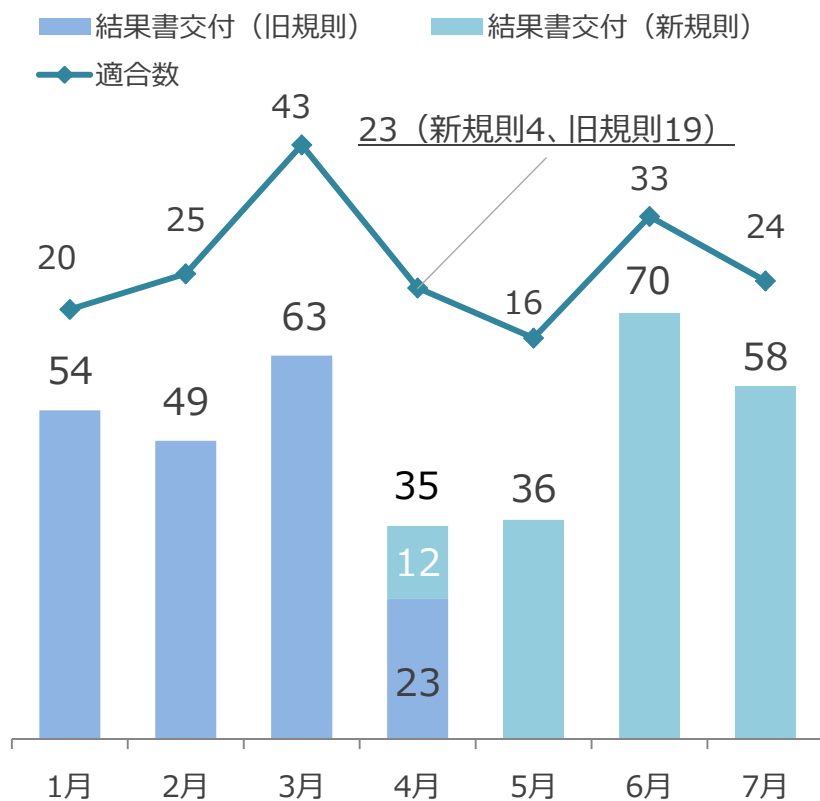


※当社調べ/表示台数は1万台未満を切り捨て

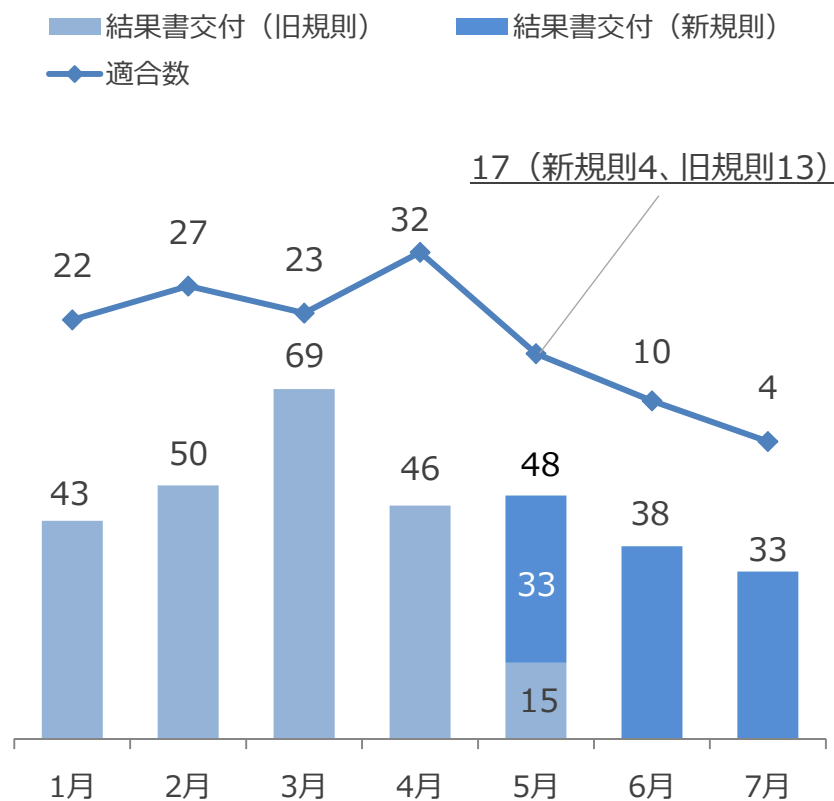
パチンコ・パチスロ市場動向（保通協型式試験の状況）

新規則機の型式試験が本格化

パチンコ型式試験 結果書交付と適合状況



パチスロ型式試験 結果書交付と適合状況

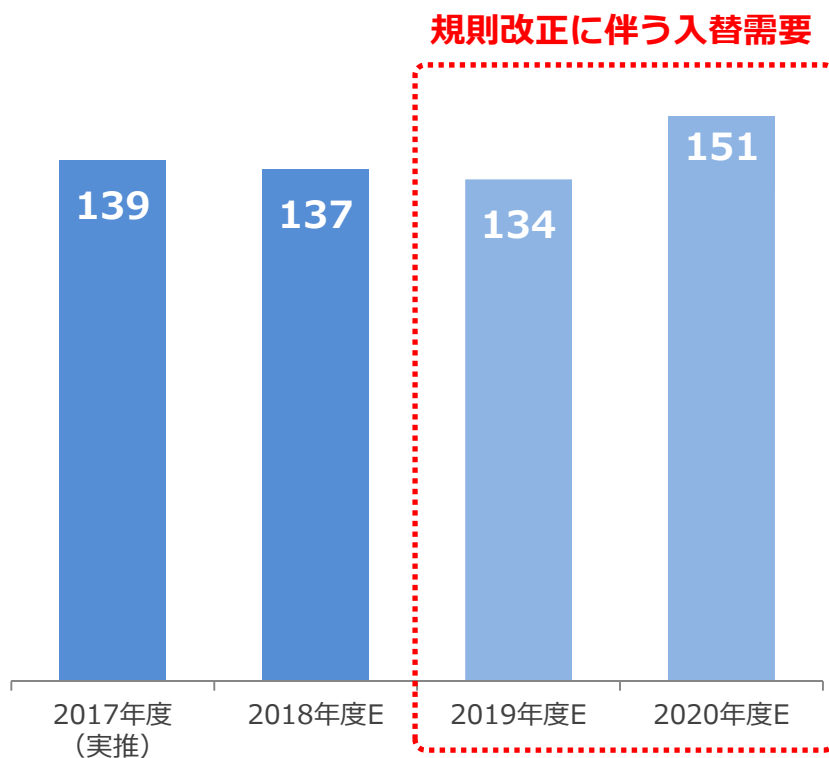


※当社調べ

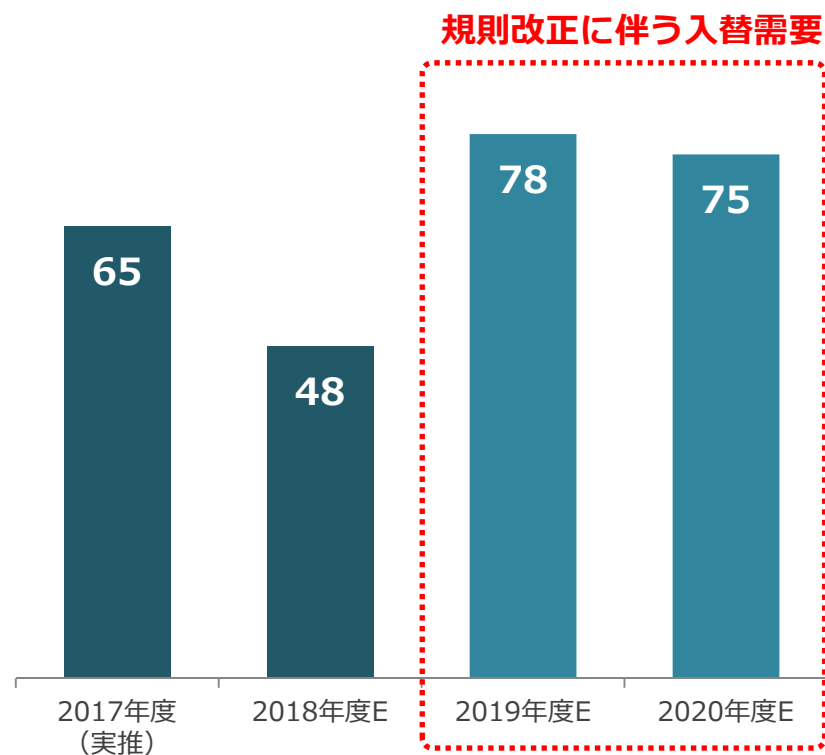
パチンコ・パチスロ市場動向（3カ年の販売市場見通し）

今後3年間で新規則機への入替需要を見込む

パチンコ販売市場見通し（万台）



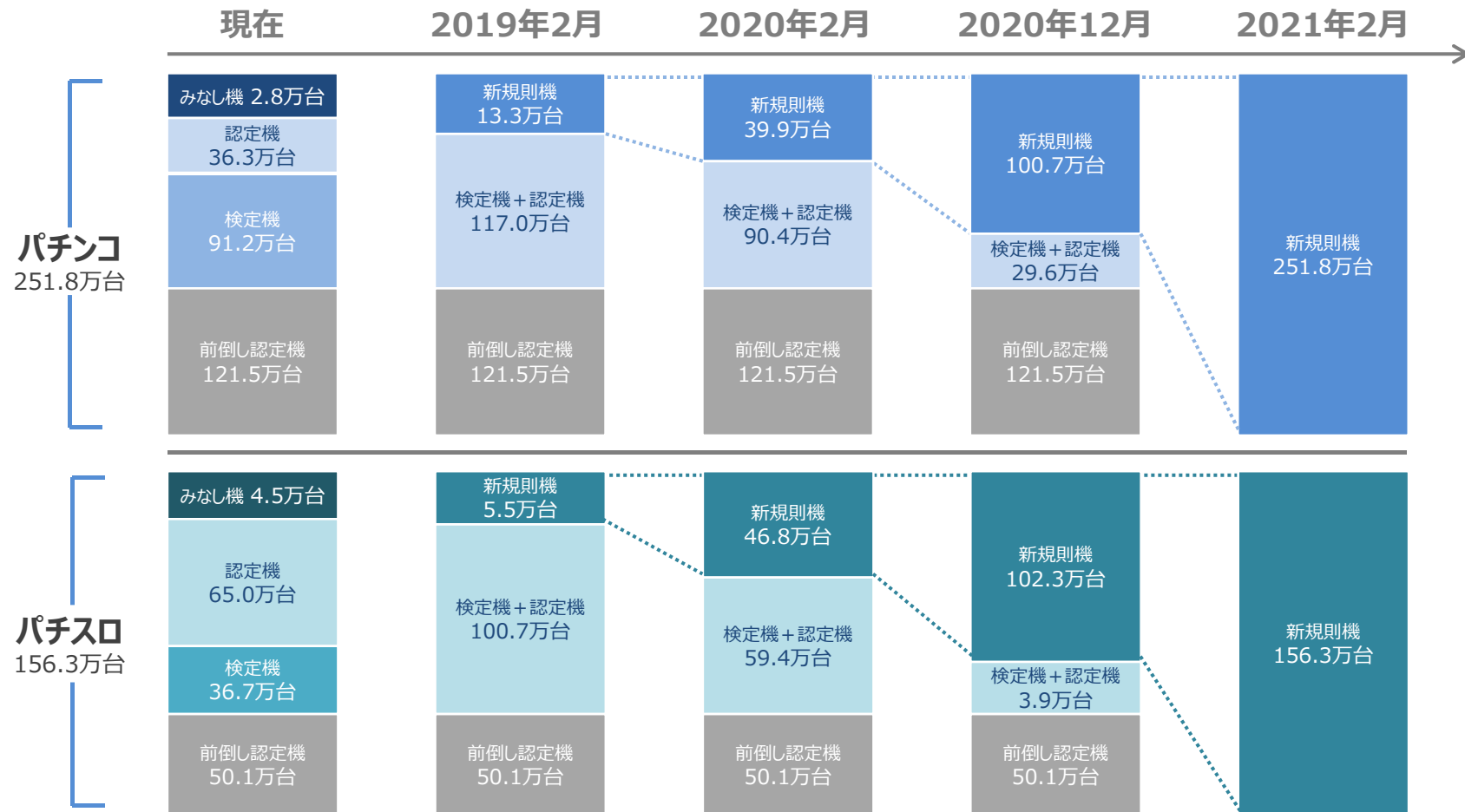
パチスロ販売市場見通し（万台）



※当社調べ

(参考) 新規機への入替タイミング – 設置動向の詳細 –

2021年2月までに 408万台 の旧規則機撤去による新台需要がある見込み



※パチスロ高射幸機の設置比率目標：2019年1月31日時点で設置台数の15%以下、2020年1月31日時点で5%以下、2021年1月31日時点で0%。

- ①検定機：型式試験通過から最大3年間の設置が可能な機械
- ②認定機：①の設置期間終了後、延長して3年間設置が可能な機械

- ③みなし機：①②に該当しないが、設置されている機械
- ④前倒し認定機：事前に認定を受け、2021年1月末まで設置が可能な機械

第2四半期までのパチンコ・パチスロラインアップ

複数ブランドで下半期の商戦に向けた開発を進行

	第1四半期	第2四半期	下半期
パチンコ	 <p>その他、 前期継続タイトル等</p> <p>CR犬夜叉 JUDGEMENT∞</p>	 <p>CRどらむ☆エヴァンゲリオンPINK</p>	 <p>CR究極神判</p>
パチスロ	 <p>パチスロ 大神</p>  <p>パチスロ 天元突破グレンラガン極</p>	 <p>ストリートファイターV パチスロエディション</p>  <p>パチスロ 花人</p>	 <p>パチスロ ロックマン Ability</p>

©高橋留美子/小学館・読売テレビ・サンライズ 2000 & 2009 ©カラー ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
 ©GAINAX・中島かずき/アニプレックス・KONAMI・テレビ東京・電通 ©GAINAX・中島かずき/劇場版グレンラガン製作委員会 ©Spiky ©NANASHOW 製造元/株式会社スパイキー 開発/株式会社七匠
 ©CAPCOM CO., LTD., ©CAPCOM U.S.A., INC. ALL RIGHTS RESERVED. ©Spiky ©NANASHOW 製造元/株式会社スパイキー 開発/株式会社七匠
 ©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. ©Spiky 製造元/株式会社スパイキー 開発/株式会社エンターライズ

規則改正、自粛等の社会的変化を受けない事業体制づくりを推進

1 遊技機販売

■パチンコ販売

-2Qにおいては、引き続き旧規則機を中心に販売

■パチスロ販売

-2Qにおいては、5.9号機を販売

⇒パチンコ・パチスロ共に新規則機の本格展開は下期以降を予定

2 PSソリューション

■新たな動画情報配信サービス（WE）

■WEBターゲティング広告（Fields AD Network）

■設置・点検の一元化、2次流通プラットフォーム等

⇒各ソリューションの開発・販売を推進

⇒具体的な内容は、中間期発表予定の中期経営計画にて報告

業界の活性化を目指した動画配信サービス「WE」

- ・遊技機の選定に費やすコスト削減への貢献
- ・全国にあるホール間の情報格差を無くし、店舗ごとの個性の多様化を図る

主な配信内容

WEニュース

ホール責任者に有益な業界・遊技情報

新機種選定情報

新台購買の判断材料となる重要な情報提供・運用方法のご提案

ツール・データ分析

営業戦略の立案やホール運営をサポートする各種ツール

⇒3Qよりサービスの展開を本格化

‘流通’のフィールドだから創出できる新しい価値・サービスの追求



WEB
広告

ビッグデータを活用した統合型マーケティングパッケージ

- ・ホールのエリアマーケティング力を強化し、効率的な広告配信を実現
- ・従来不可能であった来店検知による効果測定が可能に

⇒1Q時点で約700店舗のホールに導入

設置・点検
の一元化

新台の設置・点検業務を一括受託

【メリット】

- ・メーカー：業務委託によるコスト削減
- ・ホール：業務の一元化により、ホール責任者の負担を軽減

⇒2Qよりメーカー5社から受託を開始、今後もメーカー数拡大に注力

当1Qにおける連結グループの主な活動



- ✓ 新規則機等の販売に向けたマーケティング
- ✓ ソリューション開発・販売の推進
- ✓ アライアンス強化等



- ✓ 各ターゲットに向けたプロジェクトとして、TV新シリーズやベビー向けコンテンツを制作
- ✓ 米国訴訟（勝訴）による海外展開の推進



- ✓ グループ企業のノウハウを活かし、6号機に対応した新たな開発を推進



- ✓ 映像制作の受託開発
- ✓ 出資によるIP企画開発、権利取得など新たなビジネスモデルのプロジェクトを推進

免責事項

本資料に掲載されている弊社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、弊社の主たる事業領域でありますパチンコ・パチスロ市場を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社の取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。